

■ リーガル&コンプライアンス【基本スキルと運用コンプライアンスの実務】（6h）

Session1～2	小野 高央	アセットマネジメント One	リスク管理本部	法務グループ長	弁護士
Session3～4	伊藤 昌哉	アセットマネジメント One	リスク管理本部	コンプライアンス統括グループ	運用コンプライアンスチーム長

プログラム概要

資産運用立国が掲げられている今、年金や家計金融資産等の運用を担う資産運用会社は、法令を遵守するだけでなく、社会的責任、時に道徳的責任までもが問われ、これらを果たすための高度なガバナンス・コンプライアンス態勢が求められています。しかしながら、適用される法規制や運用手法・投資対象資産の変化・高度化・多様化は著しく、かつ受託者責任等も課され、対応は容易ではありません。

本講義では、資産運用業務の本質に基づいて、法理論・リスクコントロールの基礎等、リーガル&コンプライアンス・オフィサーが必要とする基本スキルを身につけることができます。また、自らがコンプライアンス・チェックを行うために必要な知識も分かりやすく解説しますので、運用・発注・営業・商品開発・計理・開示・外部委託部門等に所属する役職者の方でも、業務に即した具体的なチェックの方法を学ぶことができます。

（注：投資運用業の中の投資一任業務と、投信委託業務をベースに解説します。）

Session1 リーガルの基本スキル（120分）

1. 法規制の構成と特徴

- ・ 投資運用業に係る法規制の構成と範囲
- ・ 業者に適用される主要法令
- ・ 顧客に適用される主要法令
- ・ 法令理解のための基礎
 - ⇒ 法律・政令（施行令）・省令（施行規則）
 - ⇒ 公法と私法
 - ⇒ 法概念の相対性
 - ⇒ 特別法と一般法
 - ⇒ 強行法規と任意法規
- ・ 法令以外の理解のための基礎
 - ⇒ 監督指針、協会自主規制ルール、等

2. 違反した場合の影響

- ・ 違反した場合はどうなるか

3. 資産運用業者に適用される法令

- ・ 投資運用業
- ・ 投資助言・代理業
- ・ 第二種金融商品取引業

4. 代表的な義務

- ・ 善管注意義務
 - ⇒ 注意義務とは

⇒ 民法上の善管注意義務、会社法上の善管注意義務、金商法上の善管注意義務

⇒ 法概念の相対性

- ・ 忠実義務

⇒ 忠実義務とは

⇒ 忠実義務の理解 ～ 善管注意義務との関係

⇒ 投信約款と忠実義務

⇒ 投信における約款の法的性質

- ・ 説明責任

⇒ 説明責任とは

⇒ ヴィークルによる相違

- ・ 誠実・公正義務

5. 資産運用業者の法務部の実務

- ・ 業務範囲の確認

- ・ 防衛法務と戦略法務

- ・ 顧問弁護士との付き合い方

- ・ 社内弁護士の活用

- ・ 予算管理

- ・ Legal Tech

Session 2 コンプライアンスの共通スキル (60 分)

1. 受託者責任の基本

- ・ 受託者責任とは

- ・ なぜ受託者責任が生じるのか？ ～ 発生のメカニズムが分かれば対処も分かる

⇒ 金融商品取引業者等における受託者責任

⇒ 自己執行義務

⇒ 運用外部委託と監督責任

⇒ 「 善管注意義務 」 と 「 慎重な専門家の注意 」

- ・ 開示の目的と効果

⇒ 民法上の報告義務 ～ 受任者による報告

⇒ 依存度と開示の関係

⇒ 開示頻度と信頼度の関係

2. コンプライアンスの基礎

- ・ コンプライアンスとは何か ～ 狭義のコンプライアンスと広義のコンプライアンス

- ・ コンプライアンスに係る環境変化

3. コンプライアンス態勢

- ・ 態勢構築の目的

- ・ 態勢構築の手順 (一例)

- ・ 連携体制の構築

- ・ 最近の当局の動き

4. 近年企業に求められるコンプライアンス

- ・ CSR、公益通報、コンダクトリスク
- ・ ビックモーター事件、ENEOS ホールディングス、タムロン…
⇒ダスキン株主訴訟（大阪高判平成 18 年 6 月 9 日）

5. 資産運用業におけるコンプライアンスにかかる最新の論点

- ・ ミドル・バックオフィス業務の外部委託

Session 3 運用コンプライアンスの基本スキル（90分）

1. 運用コンプライアンスとは

- ・ 運用コンプライアンスとは
約款、法令、顧客ガイドライン等のチェック
- ・ なぜ運用コンプライアンスが重要か？
 - ⇒ 自立的統制と牽制
 - ⇒ 自立的統制の在り方
事前コンプライアンスチェックの重要性について
 - ⇒ 牽制の在り方
事後コンプライアンスチェックの意味
運用者に対する牽制
売買執行者に対する牽制
外部委託先に対する牽制

2. 運用コンプライアンスの基礎

- ・ 運用コンプライアンスとは ～ 事後コンプライアンスの重要性
- ・ コンプライアンスに係る環境変化
例) 新 NISA、ESG ファンドのモニタリングなど

3. 運用（事後）コンプライアンスとモニタリング態勢

- ・ 態勢構築の目的
- ・ 態勢構築の手順、業務フロー（一例）
- ・ 連携体制の構築

Session 4 運用コンプライアンススキルの応用「事例研究」（90分）

1. 運用（事後）コンプライアンスとは

- ・ 運用（事後）コンプライアンスとは
約款、法令、顧客ガイドライン等のチェック
目的と対応

2. ガイドラインチェックの実務

- ・ 約款・協会ルールのチェック手法
- ・ 対応方法による違い

3. 約款・協会ルールの遵守状況確認手法の事例

- ・ ルール設定方法
- ・ チェック体制、方法、業務フロー（一例）
- ・ 抵触事案の連携体制
- ・ 是正の確認